

久留米光画会 110周年写真展 きょうから



全国有数の歴史を持つ写真愛好家グループ「久留米光画会」（久保田精志郎会長、27人）の創立110周年記念写真展（全日本写真連盟、朝日新聞社など後援）が25日、久留米市の石橋美術館で始まる。入場無

料。29日まで。

会によると、1906（明治39）年に「千歳写真会」として創立、17年に現名称になった。国内外のプロ・アマが競うコンテスト「国際写真サロン」では、戦後の第11回から昨年の第76回までに延べ122点、39人が入選している。

記念写真展では、各会員が、「私の1枚」として自作を展示しているほか、それぞれのテーマで3枚組みを出品。計約100点が並ぶ。会の会長も務め、旧月星ゴム（現ムーンスター）社長だった故倉田雲平が収集したカメラを写真で紹介するコーナーもある。

午前10時～午後5時（29

日は午後4時まで）。久保田会長は「歴史ある会で、緊張感を持って活動を続けている。力作が並んでいるので、若い人にも写真に興味を持ってもらい、ぜひ入会してほしい」と話した。

（倉富竜太）